

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者：臼井

会議名： 平成 30 年度 第6回守山学区まるごと活性化プラン A プロジェクト会議

日時：平成 30 年 10 月 28 日(日)午前 10 時から

場所：守山会館2階 図書室

出席者：井上代表、和田副代表、竹村

(龍谷大学生)藤本、植村、小村 (行政)市民協働課 三品、守山会館 臼井

使用資料：わがまちミーティングについて、スケジュール案、テーマについて、これまでの経過

議題

1. 自己紹介
2. わがまちミーティングについて

会議要旨

内容

1. 自己紹介

- 今回より龍谷大学政策学部「政策実践・探究演習」受講生も会議に参加するため、自己紹介」

2. わがまちミーティングについて

(1) 開催概要および今後のスケジュールについて

- 開催日は龍谷大学と調整し、2月16日(土)に決定(時間は午後1時～4時を予定)
- 開催概要およびスケジュールの確認

【意見等】

- ・参加者への案内について、前回(第3回)の参加者の中で、「次回も参加したい」という方が15名ほどいたので、その方には、無作為抽出の方々と一緒に案内する。その他は、参加数が少ない場合は、過去参加者の残りや自治会の方から参加を募る
- ・参加報告期限を1/31としているが、そこから新たな参加者を募るのは猶予が少ないのではないかと
→1/25へ変更

(2) テーマについて

- 現時点での案『住み続けたいまちとは?』のサブテーマ等を本日検討する
- 事務局より例示『住み続けたいまちとは?～人と人とのつながりから考えてみよう～』
 - ステップ1：あなたが思う「住み続けたいまち」とは、人と人がどんな関わり合い方をするまち?
 - ステップ2：そんな関係性を築くためにどんな障害や課題があるのだろうか?
 - ステップ3：そんな関係性を築くために自分は何ができるか?

【意見等】

- ・これまでの議論で出た「安心・安全」「コミュニティビジネス」「地縁」は直接的に話題に挙げるのか?
→直接的ではなく、話に詰まったときにファシリテーターから問いかけてもらうなど、話の流れの中でうまく聞き出す。
→投げかけるとしたらステップ3の中が適切

- ・「安全・安心」については、自然災害ではなく、高齢者や子どもの見守り、不審者、いじめなど観点から話し合ってもらいたい。
- ・ステップ2について、あまりマイナスな方向で話し合いをするのはよくない。
- ・第3回までの経験から言うと、「自分たちに何ができるのか」までは話し合ってもらえたが、その先の「どう実践するか」までは、毎回たどり着けていない。今回はその部分についても話し合ってもらえるようにしたい。

↓

◎事務局例示の内容を基に進めることとし、細かな言葉の使い方やステップの組み方は、今回の意見を踏まえて、龍谷大学で再検討していただき、次回会議にて協議の上、最終決定する。

(3) 前回の実施結果の説明について

●前回の実施結果（テーマ、話し合いの流れ、出た意見）は、今回の参加者に説明するのか、する場合はどのようにするのか？

【意見等】

- ・前回の参加者もいるのであれば、説明する方がよい
- ・説明することで良い面としては、話の流れがイメージしやすくなる。また、前回よりも話し合いを深めることができる。悪い面は、過去に出た意見にとらわれて自由な話し合いができなくなる可能性がある。また、説明によって時間を消費してしまう。

↓

◎簡単な資料にまとめて概要のみ説明する。過去に出た意見のまとめ方として、「安心・安全」「コミュニティビジネス」「地縁」の観点で分類すると、今回、その3点についての話を引き出しやすくなるはず。

(4) 抽出方法について

●一般的な抽出方法は、参加者の年齢構成が守山学区全体の年齢構成と近くなるように、年代ごとの参加率を加味して抽出する。

例えば、より若い年代に多く集まってもらいたい場合は、その年代の抽出数を増やすことは可能。

↓

◎次回会議にてテーマが固まってから検討することとする。

決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・わがまちミーティングの開催日 2月16日（土）午後 ・今後のスケジュール ・テーマおよび話し合いの流れの概要 ・次回会議 12月9日（日）午前10時
次回以降について	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマの最終決定、話し合いの流れの検討 ・抽出方法の決定